

## 221st IBB Seminar

# 生体分子の非共有結合性相互作用を 分子技術で理解し制御する

講師：鳴海 哲夫 准教授

静岡大学大学院総合科学技術研究科  
化学バイオ工学専攻

日時：平成 31 年 3 月 2 日(土)15:20～16:20

会場：東京医科歯科大学 生体材料工学研究所  
第 2 会議室 22 号館 (1 階)



Abstract: タンパク質や DNA をはじめとする生体分子は美しく魅惑的な 3 次元構造を形成しており、これら構造形成には原子間で電子対の共有を伴う共有結合に加え、水素原子と近傍する孤立電子対が形成する水素結合や、近接するカルボニル基同士が形成するカルボニル-カルボニル相互作用など、非共有結合性の引力的相互作用が重要な役割を果たしている。近年、我々はペプチド結合と炭素-炭素二重結合の等価置換を起点とする分子技術に着目し、これら非共有結合性相互作用を理解し制御する分子科学研究を進めている。本講演では、ペプチド結合の等価置換技術による機能性分子の創出ならびに神経科学や核酸科学への応用について紹介する。

お問い合わせ：生体材料工学研究所  
マネジメント分野  
亀井(内線 8036)、玉村